

千葉県知事
森田健作様

2019年6月10日
2019-地創 293
日本郵便株式会社
関東支社長
西澤茂樹

SSK 活動状況報告書

「ちばSSKプロジェクト」の活動（2018年4月1日～2019年3月31日）
状況をご報告します。

1 高齢者の見守り

業務中に高齢者等の異変に気付いたときは、あらかじめ定められた連絡先に連絡するなどの見守り活動に協力いたしました。

今年度は以下の市町村と協定を締結しました。

・匝瑳市 2018年 8月21日

《参考》

なお、2019年3月31日現在47市町と高齢者見守りネットワーク協定を締結しています。

2 ちばSSKプロジェクト

郵便局のネットワークを活かし、地方公共団体などと協力して高齢者の地域における孤立化防止、見守り事業への参加（高齢者見守りネットワーク協定の締結等。項番1のとおり。）を行っています。

3 認知症対策

県下弊社社員に対して認知症サポーター養成講座の受講を推進しました。

今後も継続的に認知症サポーターの養成に取り組んでいきます。

《参考》

2018年度千葉県内受講者数 409名（累計受講者数 2,563名）
（2019年3月31日現在）

4 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

県の広報活動への協力の一環として、県内の48の郵便局において可能な限り、「ちば県民だより」を郵便局窓口ロビーなどへ置き、お客さまへ配布等を行いました。

5 高齢者の安心・安全

(1) 送り付け商法や振り込め詐欺被害防止の取組

警察と連携し、送り付け商法や振り込め詐欺被害の防止に取り組みました。

《参考》

千葉県内の降り込め詐欺の未然防止に関する感謝状受領件数 55件
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(2) 施設のバリアフリー化

郵便局では、施設の出入口へのスロープや手すりの設置、視覚障がい者用点字誘導ブロックの敷設など、バリアフリー化に取り組みました。

2018年度はスロープについては1局、手すりについては3局で取り組みました。